

みずほCustomer Desk Report 2016/12/05 号 (As of 2016/12/02)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.75
TKY 9:00AM	113.91	1.0662	121.46	1.0103	1.2592	0.7423
SYD-NY High	114.21	1.0690	121.89	1.0122	1.2737	0.7469
SYD-NY Low	113.33	1.0626	120.89	1.0069	1.2570	0.7401
NY 5:00 PM	113.49	1.0652	121.12	1.0102	1.2732	0.7455
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.545/12.995	△25RR	0.588	Yen Call Over		
NY DOW	19,170.42	▲ 21.51	債券市場	日本2年債	-0.1800	▲1.0bp
NASDAQ	5,255.65	4.55		日本10年債	0.0400	0.9bp
S&P	2,191.95	0.87		米国2年債	1.0957	▲5.1bp
日経平均	18,426.08	▲ 87.04		米国5年債	1.8208	▲7.7bp
TOPIX	1,477.98	▲ 5.29		米国10年債	2.3831	▲6.5bp
シカゴ日経先物	18,375	▲75.00	為替市況	独10年債	0.2810	▲8.8bp
ロンドンFT	6,730.72	▲22.21		英10年債	1.3800	▲11.7bp
DAX	10,513.35	▲20.70		豪10年債	2.8620	7.9bp
ハンセン指数	22,564.82	▲ 313.41		USD/CNH	6.8704	▲ 0.0101
上海総合	3,243.84	▲ 29.47		ドルインデックス	100.77	▲0.27
USDJPY 3M Vol	12.50	▲0.26%	商品市況	CRB指数	191.694	0.29
USDJPY 6M Vol	12.61	▲0.10%		NY金	1,177.80	8.40
EURJPY 3M Vol	12.10	0.01%		WTI	51.680	0.62
EURJPY 6M Vol	13.27	▲0.10%		Dubai Spot	50.30	1.48

東京	ドル円は113.91レベルで東京時間オープン。安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させたことや、2.4%台半ばまで上昇した米10年債利回りがじりじりと低下したことなどから、ドル円は113円台半ばまで下落。その後、特段の材料に欠く中で114円台を回復する局面があったものの、一段と上げ幅を拡大させるには至らなかった。午後に入ってから、海外時間に米11月雇用統計、週末にイタリア国民投票、オーストリア大統領選とイベントを控えて様子見ムードが強まり、ドル円は114.00を挟んだレンジ推移が継続。結局114.03レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は114.03レベルでオープン。11月米雇用統計の午後の発表や週末を控えたポジション調整の売りが散見されロンドン時間安値113.60を付けた。その後は113円台後半で様子見となり114.01レベルにてニューヨークへ渡った。ボンドドルは底堅く推移した。1.2619レベルでオープン。前日に英デベロップス欧州連合(EU)離脱担当相が欧州単一市場へのアクセスを確保するためにEUへの予算拠出を検討する考えを下院で表明したこと、英下院の一部選挙区補欠選で親欧州連合(EU)派がEU懐疑派を抑え大差で当選したこと等、「穏健離脱」路線の台頭が目立ったことに加え、週末を控えたポジション調整が入り1.26台で底堅く推移。結局1.2626レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン・トルフリ 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	ドル円は114.01レベルでNYオープン。朝方発表された米11月非農業部門雇用者数はほぼ予想と同水準だったが、前回値が下方修正されたことや平均時給が予想を下回ったことから、ドル売りが広がって113.48まで下落。その後114.21の高値まで戻したが、米債利回りは低下し、さらに利益確定売りが先行する中、上値は重く一時113.33まで下落。その後のロンドンフィックスにかけてはドル買いが優勢となり113.93まで値を戻した。しかしイタリアの国民投票を週末に控えていることやタウがマイナスイメージでの推移となったこともあり、午後にはドル円はじり安の推移となり113.49レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0631レベルでNYオープン。米雇用統計の結果発表後一時的に1.0626まで下落するが、その後はドル売り地合となり1.0681まで上昇。ただ、週末のイベントリスクを控え積極的に上値を追っていく展開とはならず、1.0652レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
12月2日	18:30	建設業PMI	11月 52.8	52.2
	19:00	PPI (前月比/前年比)	10月 0.8%/-0.4%	0.5%/-1.0%
	22:30	非農業部門雇用者数変化	11月 178K	180K
	22:30	失業率	11月 4.6%	4.9%
	22:30	平均時給(前月比/前年比)	11月 -0.1%/2.5%	0.2%/2.8%
	22:30	雇用ネット変化/失業率	11月 10.7K/6.8%	-15.0K/7.0%
	22:45	ブレインードFRB理事講演	-	-
12月3日	03:00	タルーロFRB理事講演	-	-
12月4日	-	伊 憲法改正の是非を問う国民投票	-	-

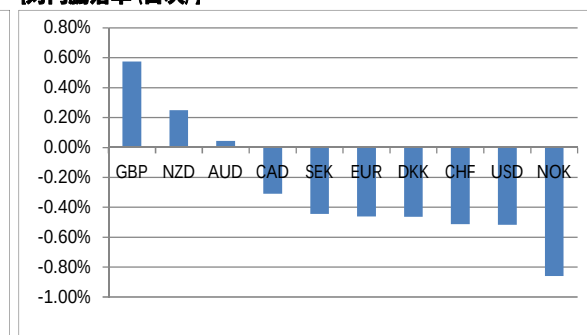
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
12月5日	10:45	中 Caixin PMI(サービス業/総合)	11月 -/-	52.4/52.9
	12:45	日 黒田日銀総裁講演	-	-
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	10月 0.8%/1.7%	-0.2%/1.1%
12月6日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	11月 55.5	54.8

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.0500-1.0650	118.50-120.00

[マーケットインプレッション]

前週末の海外市場でのドル円は軟調推移の展開。注目の米11月雇用統計では、非農業部門雇用者数と失業率が市場予想を上回る良好な結果となったものの前回値が下方修正された他、平均時給も前月比0.1%減と市場予想を下回るまちまちの結果となった。また週明けにイタリア国民投票を控え様子見ムードが広がったこと等から、114円ちょうど近辺から113円台半ばまで軟化し越えた。本日のドル円も上値の重い展開を予想。本日東京時間に開票結果が明らかになるイタリア国民投票では、改憲否決が予想され、レンツィ伊首相が退任となればリスク回避を材料とした円買いが進行し、ドル円の重石となるだろう。